

そざい
あそび
まなび
vol.2

なら歴史芸術文化村 幼児向けアートプログラム

そざい あそび まなび 展 vol.2

会 期：2024年3月19日(火)～4月7日(日)
10:00～16:30 ※月曜休館・入場無料

会 場：芸術文化体験棟1階 体験学習室

主 催：なら歴史芸術文化村

幼児向けアートプログラムでは、「そざいきち」「てでかんがえる」の2つの事業を通し子どもたちの姿を追いかけてきました。作品や写真を通して1年間の子どもの様子を展示するとともに、職員が日々の活動をまとめ、読み解いたドキュメンテーションの展示もおこないます。またミニ体験スペースを設けますので、是非お子さまと一緒にお願いします。



なら歴史芸術文化村

〒632-0032 奈良県天理市杣之内町 437-3
JR・近鉄天理駅より直行バス、直行デマンドシャトル運行(有料)
※奈良交通バス「勾田」下車徒歩15分
TEL 0743-86-4420 (代表)
<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>



公式HP



※奈良県版就学前教育プログラム
「はばたくなら」にもとづいて実施します。

そざい あそび まなび vol.2

そざい あそび まなび 展 vol.2

会 期：2024年3月19日(火)～4月7日(日)

10:00～16:30 ※月曜休館・入場無料

会 場：芸術文化体験棟 1階 体験学習室

なら歴史芸術文化村 幼児向けアートプログラム

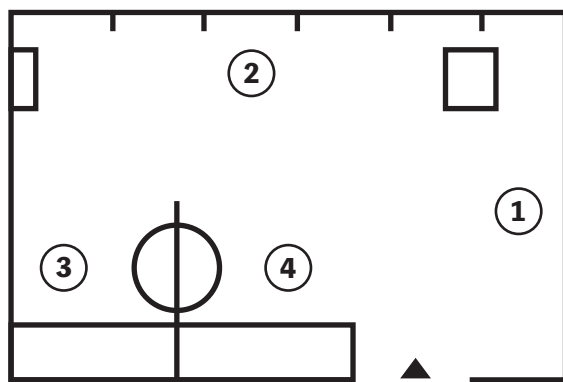
奈良県では、心身ともに著しく発達する乳幼児期に着目し、子ども一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、「学ぶ力」「生きる力」の土台となる「自己肯定感・自尊感情」「他者への寛大な心」「健やかな身体」をはぐくむことを目的としています。この考えに基づき、なら歴史芸術文化村では、イタリアのレッジョ・エミリア・アプローチを参考に、アート体験を通して「創造」と「共同(協同)」をはぐくみ、一人ひとりの発想と個性を尊重するプログラムを行っています。作品の完成を一番の目的とせず、子どもが何をしたいのか、どんな発見があるのか、創る過程を大切に、「生きる力」の土台づくりにつなげます。

そ ざ い き ち

0-6歳の未就学児を対象に、自然の素材や身近なものなどを使用し、素材との出会い、あそびを楽しみます。



就学前の5-6歳の子どもたちが、奈良の文化や素材に触れ、みんなで相談し、考えながら探究や創作活動を行います。



① 「いろいろぬるぬる」

8月2日～8月26日

使う色は白のみ。支持体(塗られる側)はザラザラ、ポコポコ、ツルツルなどを用意し、室内は白に近い環境にしました。見て質感を想像し、触れて確かめ、絵の具を通して現れる表現を楽しむ、感触を意識したプログラムです。

② 「みち・あと」

4月26日～6月24日

室内に仕掛けられた柱や紙管、フックなどにスズランテープやリボンを通したり、引っかけたりして自分の「みち」を作り、痕跡を残す遊びです。痕跡を可視化することで、自分と他者を感じるプログラムです。

③ 「てでかながえる 蚊帳」

11月11,12,18,19,25,26日

奈良県天理市の「丸山繊維産業株式会社」で作られている蚊帳生地を使用しました。蚊帳生地にたくさん触れることで特性を理解しました。みんなで「つなぐ」ことを試し、一つの作品が生まれました。

④ 「てでかながえる 和紙」

9月9,10,16,17,23,24日

奈良県吉野郡の「福西和紙本舗」で作られている宇陀紙(うだがみ)を使用しました。五感で感じる、みんなでねじる、などを通して和紙でできることを発見しました。

① 「いろいろぬるぬる」

② 「みち・あと」

③ 「てでかながえる 蚊帳」

④ 「てでかながえる 和紙」

※混雑時は入場制限をする場合があります。